

2024 年度
Academic Year 2024

学 生 募 集 要 項
Admission Information

9 月 入 学
September Enrollment

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
Graduate School of Global Communication and Language

英語教育実践領域 English Language Teaching Practices
日本語教育実践領域 Japanese Language Teaching Practices
発信力実践領域 Global Communication Practices

目 次

■概要	1
■専門職大学院 ミッションステートメント	1
■選考日程	2
1. 募集選考および募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 出願に先立ち事前審査を必要とする者	3
4. 出願要件	4
5. 英語運用能力強化のための研究生制度 (for non-native speakers of English only)	5
6. 出願手続	5
7. 選抜方法	7
8. 出願前の個別相談について	7
9. 合格者発表	7
10. 入学日	7
11. 入学手続	7
12. 修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談	8
13. 注意事項	8
■2026 (令和 8) 年度募集要項の変更 [予告]	9
■Overview	10
■Mission Statement	10
■Schedule for Screenings	11
1. Screening of Applicants and Enrollment Quota	12
2. Qualifications for Application	12
3. Those who need to be Assessed prior to Application	12
4. Conditions for Application	13
5. Application Procedures and Documents to be Submitted	14
6. Screening Procedure	15
7. Consultation before Application	16
8. Announcements of Successful Applicants	16
9. Matriculation Day	16
10. Entrance Formalities	16
11. Prior Consultation for Applicants in need of Special Consideration	16
12. NB	17
■NOTE: Change of Admission Information from Academic Year 2026 Enrollment	18

はじめに

■概要

国際教養大学専門職大学院「グローバル・コミュニケーション実践研究科」は、グローバル・コミュニケーション実践専攻のもと、「英語教育実践領域」、「日本語教育実践領域」、「発信力実践領域」の3領域を配し、2008年9月に開設されました。

■専門職大学院 ミッションステートメント

国際教養大学大学院は、日本語又は英語による高度なコミュニケーションを行うための理論と実践に係る知識と技能を身につけ、グローバル社会においてコミュニケーションの分野で活躍できる高度専門職業人を養成することを使命とします。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

国際教養大学大学院の教育目標を理解し、国際社会での各分野での積極的な役割を果たせる高度専門職業人となるための教育課程に意欲をもって挑戦できる学力を有し、同僚学生と切磋琢磨するとともに協働により互いを高めあうことに喜びを感じることができる次のような学生を受け入れません。

主体的に学ぶ意欲が強く、鋭い問題意識を持つ学生であって

- 英語教育実践領域

グローバル且つクリティカルな視野を備え、国際コミュニケーション・ツールとしての英語の教育に貢献することを目指す人材

- 日本語教育実践領域

日本の文化や社会全般と日本語に関する深い興味を有し、世界で活躍する日本語教師を目指す人材

- 発信力実践領域

世界を総合的に観察することに関心を持ち、ジャーナリズム、パブリックリレーションズ、ビジネスの分野で国際的に活躍することを目指す人材

を求めます。

広く優秀な人材を世界から求めるため、入学審査は厳格な書類審査（必要に応じ、面接）によって行います。

本研究科では、英語教育実践領域および発信力実践領域において、4月入学と9月入学を採用していますが、日本語教育実践領域は9月入学のみとなります。本研究科では、入学前の4月から7月までを有効利用し、入学後の学習負担を軽減することを目的とした「プレ・グラデュエート・ステューデント制度」を設け、研修活動や科目履修を認めています。プレ・グラデュエート・ステューデント制度は、学長の許可のもと、大学院への入学前のギャップ・イヤー活動や科目履修により単位の一部取得を認める制度で、秋および冬選考で合格し、入学手続を完了した入学予定者が対象となります。なお、ギャップ・イヤー活動は、事前審査で承認される必要があります。外国人については2024年4月1日までに日本の留学査証を取得できることがプレ・グラデュエート・ステューデント制度を利用する場合の条件です。

日本語教育実践領域

秋、冬選考で合格した入学予定者が対象となり、プレ・グラデュエート・ステューデントとして4月開講の春学期の大学院科目履修（最大2科目6単位まで）、またはギャップ・イヤー活動を選択することができます。

英語教育実践領域および発信力実践領域

秋、冬選考で合格した9月入学予定者が対象となり、合格後に申請し、認められた場合は、プレ・グラデュエート・ステューデントとして、ギャップ・イヤー活動を行うことができます。

日本語教育実践領域におけるリカレント教育（実務経験者）については、一定の条件を満たすことにより、修学期間を短縮することができます。条件については、大学院案内をご確認のうえ、お問い合わせください。

■選考日程

9月入学については、2023年秋、2023年冬および2024年春の3回選考を行います。

2023年秋選考	
募集人員	10名
出願期間	2023年9月19日（火）～28日（木）[最終日必着]
合格者発表	2023年10月19日（木）
入学手続期間	2023年10月20日（金）～11月2日（木）

2023年冬選考	
募集人員	10名
出願期間	2023年12月4日（月）～13日（水）[最終日必着]
合格者発表	2024年1月17日（水）
入学手続期間	2024年1月18日（木）～30日（火）

2024年春選考	
募集人員	10名
出願期間	2024年4月12日（金）～22日（月）[最終日必着]
合格者発表	2024年5月15日（水）
入学手続期間	2024年5月16日（木）～29日（水）

1. 募集選考および募集人員

研究科および専攻の名称	入学定員	領 域
グローバル・コミュニケーション実践研究科 グローバル・コミュニケーション実践専攻	30名※	英語教育実践領域 日本語教育実践領域 発信力実践領域

※上記入学定員には、4月入学者も含まれます。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者または2024年8月31日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2024年8月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または2024年8月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2024年8月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2024年8月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることおよび文部科学大臣がその他に定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2024年8月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - ① 旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者または2024年8月31日までに卒業見込みの者
 - ② 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭または養護教諭の専修免許状もしくは一種免許状を有する者で2024年8月31日までに22歳に達する者
- (8) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本大学院においてその教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2024年8月31日までに22歳に達する者

3. 出願に先立ち事前審査を必要とする者

出願資格(8)または(9)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ国際教養大学・入試室にお問い合わせのうえ、本大学院が指定する書類を提出してください。

4. 出願要件

語学資格のスコア（級）の証明書を提出する必要があるため、すべての語学資格は、出願期間最終日から2年以内に取得したスコア（級）であることが必要です。

領域	応募時の英語能力または日本語能力の目安
英語教育実践領域	TOEFL iBT®88、TOEFL®PBT 570、または他の試験で同等の英語力が認められる者（TOEIC®L&R 820、IELTS™ 6.5、ケンブリッジ英語検定 C2 Proficiency、英検 1 級など）
日本語教育実践領域	<p>■日本語を母語とする者で、次の 1) または 2) に該当する者</p> <p>1) TOEFL iBT®71、TOEFL®PBT 530、または他の試験で同等の英語力が認められる者（TOEIC®L&R 750、IELTS™ 6.0、英検準 1 級など）</p> <p>2) 次のすべてを満たす者</p> <p>① TOEFL iBT®61、TOEFL®PBT 500、または他の試験で同等の英語力が認められる者（TOEIC®L&R 700、IELTS™ 6.0、英検準 1 級など）</p> <p>② 英語以外の語学試験において一定の等級・スコアを有する者 （TOPIK（韓国語能力試験）5 級、HSK（漢語水平考試）5 級、ヨーロッパ言語等においては CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠組）で C1 レベル相当）</p> <p>■日本語を母語としない者で次のすべてに該当する者</p> <p>1) TOEFL iBT®61、TOEFL®PBT 500、または他の試験で同等の英語力が認められる者（TOEIC®L&R 700、IELTS™ 6.0、英検準 1 級など）</p> <p>2) 日本語能力試験（財団法人日本国際教育支援協会主催）N1 を有する者</p>
発信力実践領域	TOEFL iBT®79、TOEFL®PBT 550、または他の試験で同等の英語力が認められる者（TOEIC®L&R 800、IELTS™ 6.5、ケンブリッジ英語検定 C1 Advanced、英検 1 級など）

※上記の点数は目安ですので、これらの基準に満たない場合でも出願は可能です。

※TOEFL ITP® TEST、TOEIC®L&R IP TEST のスコアを用いての出願はできません。ただし、本学において行われる TOEFL ITP® TEST、TOEIC®L&R IP TEST のスコアを有する者は、それぞれ TOEFL®PBT TEST、TOEIC®L&R TEST のスコアとして出願が可能です。

※各試験のスコア・合格証等は、指定されている言語ごとに 1 種類提出が必要です。

※語学力を証明する書類の有効期限が切れているものの、基準を満たすスコア（級）を有する者に限り、オンラインでの面接試験の受験を選択することができます（英語、日本語に限定）。面接試験を希望する場合は、本学ウェブサイトの入試情報ページからお申し込みください。面接試験は出願書類の提出前に完了してください。

《参考：英語以外の語学試験におけるスコア換算表》

CEFR Level (ヨーロッパ言語共通参照枠組)	CIEP/Alliance Française Diplomas (フランス語)	DELE (スペイン語)	TORFL (ロシア語)
C2	TCF C2 / DALF C2 / DHEF	Maestría	Level 4
C1	TCF C1 / DALF C1 / DSLCF	Superior	Level 3
B2	TCF B2 / DELF B2 / Diplôme de Langue	Avanzado	Level 2
B1	TCF B1 / DELF B1 / CEFP 2	Intermedio	Level 1
A2	TCF A2 / DELF A2 / CEFP 1	Elemental	Basic Level
A1	TCF A1 / DELF A1	Inicial	Elementary Level

※上記以外の言語については、お問い合わせください。

5. 英語運用能力強化のための研究生制度 (for non-native speakers of English only)

本学学部の英語集中プログラム (EAP) で英語の運用能力を高めてから本大学院に入学する制度です。英語運用能力が大学院の出願要件に達していない場合でも、英語を集中的に学習することにより本大学院での修学が可能になると判断された場合は、研究生として入学することが可能です。EAP で1 学期程度の期間学び、所定の英語運用能力を身につけた後に大学院に再出願することができます。ただし、研究生としての入学は、大学院の合格を保証するものではありません。英語運用能力が十分ではないことに起因して不合格と判定された出願者で、本研究生制度に適切だと本学が判断した場合には、合否と同時にその旨が通知されます。

なお、本制度の利用は、日本国籍、日本国の (特別) 永住許可、「留学」等の在留資格 (短期滞在を除く) のいずれかの保持者に限ります。

6. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、上述の選考日程の出願期間内に郵送してください。最終日必着を厳守とします。封筒の表に「グローバル・コミュニケーション実践研究科入学願書在中」と朱書し、必ず簡易書留・速達郵便にしてください。

【提出先】〒010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿岱
国際教養大学・入試室

(2) 出願書類

様式	出願書類	摘要
A-1	入学志願票（英文）	本学所定の用紙に所要事項を英語で記入し、写真（縦4cm×横3cm、上半身・正面、無帽、出願日前3ヵ月以内に撮影したもの）を貼付してください。
A-2	入学志願票（和文） ※日本語教育実践領域志願者のみ	日本語教育実践領域を志願する者は、本学所定の用紙に所要事項を日本語で記入し、写真（縦4cm×横3cm、上半身・正面、無帽、出願日前3ヵ月以内に撮影したもの）を貼付してください。
B-1	志願理由・学修計画書（英文）	様式に従い、英語で記入してください。
B-2	志願理由・学修計画書（和文） ※日本語教育実践領域志願者のみ	日本語教育実践領域を志願する者は、様式に従い、日本語で記入してください。
C	推薦状の様式	様式に従い、推薦者本人が英語で自筆記入してください。
	推薦状	2通提出してください（2名の推薦人による各1通の推薦状）。最終学校在学時の指導教員、現在の所属長またはそれに準ずる者の推薦状を提出してください。 英語または日本語で作成し、様式C（推薦状の様式）と併せて一つの封筒にまとめて厳封してください。 なお、推薦状は必ず推薦人に作成・厳封を依頼してください。推薦人本人が作成していない推薦状および推薦人本人によって厳封されていない推薦状は無効とします。 本学より推薦者に問い合わせることがありますので、連絡先（電話番号、メールアドレス等）は、必ず明記してください。
	経歴書	これまでのさまざまな活動内容（ボランティアやサークル活動）やアルバイトを含めた職歴等、時系列に英語で作成してください（様式任意）。なお、日本語教育実践領域を志願する者は、日本語で作成したものを併せて提出してください。
	卒業（見込）証明書または 大学評価・学位授与機構が発行 する学士の学位授与証明書	所属および出身大学（学部）長が作成し、厳封してください。（和文または英文） 出願資格(2)に該当し、2024年8月31日までに学士の学位を授与される見込みの者は、所属学校長の学位授与申請（予定）証明書を提出してください。
	成績証明書	所属および出身大学（学部）長が作成し、厳封してください（和文または英文）。 編入・転入した場合や、海外留学により単位認定を受けた場合は、編入・転入前に在籍していた大学や留学先大学が発行し、厳封した成績証明書も併せて提出してください。

	<p>語学力を証明する書類</p>	<p>各検定試験等の成績証明書の原本を要件に指定されている言語ごとに1通提出してください。</p> <p>原本の返却を希望する場合は、返送希望の旨を明記してください。すべての語学資格は、出願期間最終日から2年以内に取得したスコア（級）であることが必要です。</p> <p>TOEFL®のスコアをETSから本学に送付される場合、本学のインスティテューションコードは8524です。</p>
--	-------------------	--

※検定料は徴収しません。

7. 選抜方法

入学者の選抜は、志願票、志願理由・学修計画書、推薦状、経歴書および出願要件としての英語能力もしくは日本語能力など、出願書類を総合的に判断して選考します。筆記試験は実施しません。

8. 出願前の個別相談について

本学大学院は専門職大学院です。専門職大学院の特徴を把握していただくために、出願に先立って、担当領域教員との個別相談を強く勧めます。個別相談を希望する方は、本学ウェブサイトの専用ページからお申し込みください。個別相談は出願書類の提出前に完了してください。

9. 合格者発表

合格者発表日の午後2時（予定）に本学ウェブサイト〈 <https://admission.aiu.ac.jp/> 〉に受験番号を掲載します。また、合格者には「合格通知書」を送付します。

入学選考結果については、後日、郵便にて送付される「合格通知書」をもって正式な通知とします。電話等による入学選考結果の問い合わせには一切応じません。

10. 入学日

2024年9月1日（日）

11. 入学手続

(1) 入学手続書類等

入学手続に関する書類等は、合格通知書に同封します。上述の入学手続期間に、入学金を納め、必要書類を提出していただきます。

(2) 入学金および授業料

① 入学金

【秋田県内者】282,000円

【秋田県外者】423,000円

※納入した入学金は返還しません。

② 授業料

【年額】696,000円

※入学後に納入していただきます。納付額について、在学中に納付額の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※経済的事情または不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生は、授業料の減免制度や奨学金制度が利用できます。詳しくは、入学後に案内します。

12. 修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談

障がいや疾病等により、入学後に修学上の特別な配慮を必要とし、事前に受けられる配慮について相談したい方は、次の事項を記入した申出書（書式任意）を提出してください。希望する配慮によっては対応できない可能性もありますので、対応可否を確認したうえで出願を検討したい場合は、なるべく早く相談をしてください。なお、提供する配慮の決定は、入学後に診断書等の書類や履修内容を確認した上で行います。事前相談の内容を入学後に約束するものではありませんので、予めご了承ください。

(1) 提出先

〒010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿岱

国際教養大学 学生課 修学・健康支援コーディネーター

(2) 相談の際に提供を依頼したい情報

- ① 【必須】志願者の氏名と連絡先（電話番号かeメールアドレス）
- ② 【必須】修学上特別な配慮を希望する事項
- ③ 【任意】これまで認められたことのある配慮の内容
- ④ 【任意】日常生活の状況

※相談を受ける際に、障がいの程度や内容、診断を受けた年月のわかる書類などの提示をお願いする可能性があります。

13. 注意事項

- (1) 提出された出願書類は、原則として返還しません。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、受理できません。
- (3) 提出された出願書類に記載された個人情報については、次のとおり取り扱います。出願した者は、下記の記載内容に同意した者とみなします。
 - ① 個人情報は、個人情報の保護に関する法律を遵守するとともに、「公立大学法人国際教養大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期します。
 - ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学金、授業料免除、健康管理等）、修学指導等の教育目的および授業料徴収以外には利用しません。
- (4) TOEFL®のスコアをETSから本学に送付される場合において、出願期間の最終日までに届かない場合は、出願書類不備とみなし、出願は受理できません。
- (5) 募集に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

国際教養大学・入試室

〒010-1292 秋田市雄和椿川字奥椿岱

Tel： 018-886-5931（直通）平日9：00~17：00

Fax： 018-886-5910

E-mail： info@aiu.ac.jp

※電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

■2026（令和8）年度募集要項の変更〔予告〕

日本語教育実践領域の語学資格に関する出願要件を、以下のとおり変更いたします。

新	旧
<p>■日本語を母語とする者 TOEFL iBT®71、TOEFL®PBT 530、または他の試験で同等の英語力が認められる者 (TOEIC®L&R 750、IELTS™ 6.0、英検準1級など)</p> <p>■日本語を母語としない者で次のすべてに該当する者</p> <p>1) TOEFL iBT®71、TOEFL®PBT 530、または他の試験で同等の英語力が認められる者 (TOEIC®L&R 750、IELTS™ 6.0、英検準1級など)</p> <p>2) 日本語能力試験（財団法人日本国際教育支援協会主催）N1を有する者</p>	<p>■日本語を母語とする者で、次の 1) または 2) に該当する者</p> <p>1) TOEFL iBT®71、TOEFL®PBT 530、または他の試験で同等の英語力が認められる者 (TOEIC®L&R 750、IELTS™ 6.0、英検準1級など)</p> <p>2) 次のすべてを満たす者</p> <p>① TOEFL iBT®61、TOEFL®PBT 500、または他の試験で同等の英語力が認められる者 (TOEIC®L&R 700、IELTS™ 6.0、英検準1級など)</p> <p>② 英語以外の語学試験において一定の等級・スコアを有する者 (TOPIK（韓国語能力試験）5級、HSK（漢語水平考試）5級、ヨーロッパ言語等においては CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠組）で C1 レベル相当)</p> <p>■日本語を母語としない者で次のすべてに該当する者</p> <p>1) TOEFL iBT®61、TOEFL®PBT 500、または他の試験で同等の英語力が認められる者 (TOEIC®L&R 700、IELTS™ 6.0、英検準1級など)</p> <p>2) 日本語能力試験（財団法人日本国際教育支援協会主催）N1を有する者</p>

INTRODUCTION

■Overview

Established in September 2008, the AIU graduate school is comprised of three pathways: English Language Teaching Practices, Japanese Language Teaching Practices, and Global Communication Practices.

■Mission Statement

The mission of the Akita International University Graduate School of Global Communication and Language (AIU GSGCL) is to prepare students for careers in professional communication fields that make positive contributions to today's global society. With programs in English and in Japanese that engage students in classroom and practical training activities, the GSGCL provides students with the knowledge and practical skills they need to advance their careers.

Admission Policy

The AIU GSGCL accepts students who understand the educational goals of the graduate school; who possess the academic strengths to successfully complete the GSGCL curriculum; who wish to acquire the knowledge and practical skills needed to become highly specialized professionals able to play active roles in the international community; and who enjoy competing and collaborating with their peers in learning and research activities.

In addition, students are expected to have strong motivation for independent study and keen interest in global issues.

With a lens through which they see and discuss global issues critically, English Language Teaching Practices students should possess a strong desire to be skilled in teaching English for international communication.

With a deep interest in Japanese culture and society as well as its language, Japanese Language Teaching Practices students should possess a strong desire to teach Japanese internationally to students from around the world.

With a strong interest in comprehensive understanding of the world, Global Communication Practices students should possess a strong desire to work internationally in areas such as journalism, public relations and business communication.

In order to accept excellent students from all over the world, the screening of applicants is carefully conducted on the basis of submitted documents and, where necessary, interviews.

The English Language Teaching Practices (ELT) and Global Communication Practices (GCP) of the AIU Graduate School allow new students to enroll in April or September and the Japanese Language Teaching Practices (JLT) accepts new students only in September. And GSGCL students are eligible to participate in the "Pre-Graduate-Student System" with prior approval from the President of AIU. Participation in this system will allow students to take advantage of time (April through July) before their official enrollment in September. This system is designed for intended matriculants who are accepted by the AIU Graduate School in the Fall or Winter screenings and have paid the matriculation fee. The Pre-Graduate-Student System will help to lighten future course workload by allowing students to take courses or conduct Gap Year Activities. Gap Year activity must be proposed and approved in advance. Non-Japanese citizens who wish to be pre-graduate-students must obtain proper visas issued by the Government of Japan by April 1st, 2024.

JLT Program

The system is applicable to students admitted during the Fall or Winter screenings. Pre-Graduate Students can choose to either take courses at AIU's Graduate School during Spring Semester [up to 2 courses (6 credits)] or conduct Gap Year Activities (which they can receive credit towards graduation).

ELT and GCP programs

Students who starts as degree seeking students in September and admitted during the Fall or Winter screenings are eligible to conduct Gap Year Activities if their proposal for the activities is examined and approved by the university.

Students in the Japanese Language Teaching Practices program with sufficient prior Japanese language teaching experience may be able to shorten their period of study at AIU. More information on these conditions will be provided upon request.

■Schedule for Screenings

Screenings for September 2024 enrollment will be conducted in Fall 2023, Winter 2023, and Spring 2024.

Fall 2023 Screening	
Number of Seats Available	10
Period of Application	September 19 – 28, 2023 <small>*The completed documents must arrive at AIU by the last day of the application period.</small>
Announcement of Successful Applicants	October 19, 2023
Period of Entrance Formalities	October 20 – November 2, 2023
Winter 2023 Screening	
Number of Seats Available	10
Period of Application	December 4 – 13, 2023 <small>*The completed documents must arrive at AIU by the last day of the application period.</small>
Announcement of Successful Applicants	January 17, 2024
Period of Entrance Formalities	January 18 – 30, 2024
Spring 2024 Screening	
Number of Seats Available	10
Period of Application	April 12 – 22, 2024 <small>*The completed documents must arrive at AIU by the last day of the application period.</small>
Announcement of Successful Applicants	May 15, 2024
Period of Entrance Formalities	May 16 – 29, 2024

1. Screening of Applicants and Enrollment Quota

Programs and Majors	Quota	Subject Areas
Graduate School of Communication and Language Graduate Program in Global Communication and Language Practices	30*	English Language Teaching Practices Japanese Language Teaching Practices Global Communication Practices

*The quota includes the number of April enrollment.

2. Qualifications for Application

An applicant will be considered based on any of the following qualifications:

- (1) graduated or will graduate from a university by August 31, 2024
- (2) received or will receive a bachelor's degree by the National Institution for Academic Degrees and University Evaluation by August 31, 2024
- (3) completed or will complete, in a foreign country, sixteen-years of verifiable school education by August 31, 2024
- (4) completed or will complete a sixteen-year correspondence program offered by a foreign institution by August 31, 2024
- (5) completed or will complete a foreign university program in Japan (the person must be recognized in the foreign country as completing a sixteen-year educational program) at an institution accredited by the foreign country and designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (hereinafter referred to as MEXT) by August 31, 2024
- (6) completed or will complete a Special Training School (which meets the conditions set forth by the Minister of MEXT, such as having a duration period of 4 years or longer, and has been designated by the Minister of MEXT) by August 31, 2024
- (7) designated by the Minister or MEXT
 - a) Those who graduated or will graduate from a university established according to the old (Japanese) University Law by August 31, 2024
 - b) Those who are 22 years of age or older at the time of admission and hold a license as an elementary school, high school or junior high school teacher, a kindergarten teacher or an advanced or first-class license as a nurse-teacher
- (8) admitted to other graduate schools established in accordance with Article 102, Paragraph 2 of the School Education Law and recognized as having appropriate skills to receive education at the Graduate School
- (9) Those who are 22 years of age or older by August 31, 2024 and recognized as having equivalent academic competency to a university graduate through an independent admission process

3. Those who need to be Assessed prior to Application

If you wish to apply through option (8) or (9), you must be evaluated to determine whether or not you are qualified to apply. Please inform the Admissions Office of your intention to do so beforehand and submit the required documents designated by the AIU Graduate School.

4. Conditions for Application

The applicants have to submit the scores/certificates for language proficiency test(s) and they must be dated within two years from the last day of each application period.

Subject Areas	General Standards of Level of Language Proficiency
English Language Teaching Practices	TOEFL iBT®88, TOEFL®PBT 570, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 820, IELTS™ 6.5, Cambridge English Qualifications C ₂ Proficiency, and STEP Eiken 1st level.
Japanese Language Teaching Practices	<p>■ Native speakers of Japanese must meet 1) or 2) of the requirements below:</p> <p>1) Must have one of the following: TOEFL iBT®71, TOEFL®PBT 530, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 750, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>2) Must have both of the following:</p> <p>a. TOEFL iBT®61, TOEFL®PBT 500, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 700, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>b. TOPIK (Test of Proficiency in Korea) 5th level, HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) 5th level, or CEFR (Common European Framework of Reference of Languages) C1 level.</p> <p>■ Non-native speakers of Japanese must meet both of the requirements below:</p> <p>1) Must have one of the following: TOEFL iBT®61, TOEFL®PBT 500, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 700, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>2) Must have JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N1 level.</p>
Global Communication Practices	TOEFL iBT®79, TOEFL®PBT 550, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 800, IELTS™ 6.5, Cambridge English Qualifications C ₁ Advanced, and STEP Eiken 1st level.

*The scores above are general standards, and you can still apply even if you have not met these standards.

*A score from TOEFL ITP® TEST or TOEIC®L&R IP TEST taken outside of AIU cannot be used in applications, however, TOEFL ITP® TEST or TOEIC®L&R IP TEST on-campus may be used.

*Applicants are required to submit a score report from one of the required language proficiency tests.

*Only applicants whose scores/certificates for language proficiency test(s) have expired, but who have met the standards, may choose to take an online interview test. (In English or Japanese only) To apply for an interview test, use the online form on the Admissions web page. The interview test must be completed prior to the submission of the application documents.

■ Score conversion table for those who demonstrate proficiency by a language test other than English

CEFR level	CIEP/Alliance Française Diplomas (French)	DELE (Spanish)	TORFL (Russian)
C2	TCF C2 / DALF C2 / DHEF	Maestría	Level 4
C1	TCF C1 / DALF C1 / DSLCF	Superior	Level 3
B2	TCF B2 / DELF B2 / Diplôme de Langue	Avanzado	Level 2
B1	TCF B1 / DELF B1 / CEFP 2	Intermedio	Level 1
A2	TCF A2 / DELF A2 / CEFP 1	Elemental	Basic Level
A1	TCF A1 / DELF A1	Inicial	Elementary Level

*For other languages, please contact the Admissions Office.

5. Application Procedures and Documents to be Submitted

(1) Application Procedures

Application documents must be submitted by mail. Please write on the envelope "Application Form for Graduate School of Global Communication and Language." Be sure to send the documents by registered, special delivery mail. Application forms must arrive at AIU by the last day of the application period. They must be sent to this postal address:

Akita International University
Admissions Office
Yuwa, Akita-city 010-1292 Japan

(2) Documents to be Submitted

Form	Required Documents	Notes
A-1	Admission Application Form (English)	Fill out Form A in English and affix your photo. Photo must be taken within three months of applying, 3 x 4 cm in size, full-face, and of the upper half of your body. Do not wear a hat.
A-2	Admission Application Form (Japanese) *JLT applicant only	If you apply for JLT, submit the same information in Japanese as well.
B-1	Personal Statement and Study Plan (English)	Use Form B and write in English.
B-2	Personal Statement and Study Plan (Japanese) *JLT applicant only	If you apply for JLT, submit the same information in Japanese as well.

C	Recommendation	Use Form C. It must be written in English by a recommender.
	- Regarding Recommendation	Two letters of recommendation are required. Letters must be written by faculty members who were advisors to the applicant, the current dean, or by a person of equivalent position. Letters may be written in English or Japanese, and must be sealed along with Form C in the same envelope by the recommenders. It will be invalid if the recommendation letters are not written by the recommenders or are not sealed along with Form C in the same envelope by the recommenders. We will contact your recommenders when necessary. Therefore, please make sure to provide us with phone number and e-mail address of your recommenders, respectively.
	Resume (CV)	Attach a chronological listing of employment and other significant activities, beginning with the most current. Write in English using your own format. If you apply for JLT, submit the same information in Japanese as well.
	Bachelor's transcripts showing your degree and date of award, or a degree certificate issued by the National Institution for Academic Degrees and University Evaluation	A certificate must be issued in English or Japanese and sent in a sealed envelope by the president, the registrar, or dean of faculty. Those to whom Conditions for Application (2) apply, and who expect to be granted a bachelor's degree by August 31, 2024 must submit an expected degree certificate or an equivalent document from your university president, registrar, or dean of faculty.
	Transcript(s)	Official transcripts must be issued in English or Japanese and sent in a sealed envelope by the president, the registrar, or dean of faculty. Applicants who have transferred from another university or have had transferred credits through study abroad also must submit the official transcripts issued by the university in a sealed envelope by the president, the registrar, or dean of faculty.
	Document(s) verifying language proficiency	Submit an original (not copied or downloaded) score report of a test you have taken for each language as specified in 'Conditions for Application'. The scores/certificates for language proficiency test(s) must be dated within two years from the last day of each application period. If you want AIU to return the original, please inform AIU upon submission. TOEFL® score may be directly sent from ETS to AIU. (AIU Institution Code: 8524)

*An application fee is not required.

6. Screening Procedure

Applicants will be assessed based on submitted Application Form, Personal Statement and Study Plan, Recommendation Letters, and Resume as well as level of English or Japanese proficiency. There is no written exam.

7. Consultation before Application

In order to be sure that AIU is indeed the right university for you, consultation with AIU faculty member via online, or a face-to-face format, is strongly recommended. To apply for a consultation, use the online form on the official web page. The consultation must be completed prior to the submission of the application documents.

8. Announcements of Successful Applicants

The test registration numbers of successful applicants will be posted on the AIU website, <https://web.aiu.ac.jp/en/>, at approximately 2:00 p.m. A letter of acceptance will be sent by post to each successful applicant after that date. AIU will not accept any inquiries about the results of screening by phone or by any other means.

9. Matriculation Day

September 1, 2024

10. Entrance Formalities

(1) Notification concerning the Documents Required for Enrollment

Documents required for enrollment will be enclosed with the letter of acceptance. Completed application forms must be submitted within the Period of Entrance Formalities, along with the required payment by the designated deadline.

(2) Matriculation Fee and Tuition

a) Matriculation Fee

【Those from Akita Prefecture】 282,000 yen

【Those from outside Akita Prefecture】 423,000 yen

*This fee is a one-time payment, non-refundable, and must be paid only by those admitted.

b) Tuition

696,000 yen (yearly)

*Tuition may be paid after your enrollment.

* Please note that when tuition is amended, the new tuition will be applied from the day of amendment.

*AIU may reduce or exempt the tuition payments of students who have extreme difficulty in paying tuition due to financial problems or unforeseen disasters. In addition, scholarships may be available for those in financial difficulty. Detailed information on financial aid will be given after your enrollment.

11. Prior Consultation for Applicants in need of Special Consideration

Applicants must submit a request letter in advance if they wish to consult with the university about what kind of special consideration you can receive after enrollment to study and experience university life under a fair learning environment. This prior consultation is applicable to those who face restrictions with academic learning and/or daily life over an extended period because of physical disabilities, internal impairment and/or disease.

Please note that we may not be able to accommodate your request depending on the nature of the consideration you wish to receive. If you would like to apply after confirming whether or not your request will be accommodated, please consult with us as early as possible.

After enrollment, we will determine what kind of consideration will be provided after reviewing medical certificates, other documents and course registration. Therefore, please note that the contents of the prior consultation may not be guaranteed after enrollment.

- (1) The letter of request must be submitted to the AIU Office of Student Affairs, Academic and Health Support Coordinator.
- (2) Information we would like to ask you to provide when consulting:
 - a) applicant's name, contact information (phone number or email address) *Required
 - b) matters which require special consideration while studying at AIU *Required
 - c) matters which have received special consideration elsewhere *Optional
 - d) situation of the applicant's daily life *Optional

*When you receive a consultation, you may be asked to present the document's copy of showing the extent and nature of the disability and the date of diagnosis.

12. NB

- (1) Documents submitted will not be returned to the applicant.
- (2) If there is any irregularity in the documents, the documents will not be accepted.
- (3) Personal information in the application documents will be handled in the following manner.
 - a) Personal information kept by the AIU Graduate School will be handled in accordance to the Akita Prefecture Personal Information Protection Clause. It will also be kept strictly confidential in keeping with the Public University Corporation AIU's Personal Information Protection Regulations.
 - b) Personal information will be used to screen applicants and for admission procedures, follow-up checks on applicants, assistance and support following admission (scholarships, health care, etc.), guidance on academic matters, and collection of tuition fees.
 - c) Those who apply to AIU will be considered to have agreed with the above items.
- (4) If an original score report of a language proficiency test does not arrive at AIU by the last day of the application period, your application is considered insufficient and will not be accepted.
- (5) For further information, please contact:

Akita International University

Admissions Office

Yuwa, Akita-city 010-1292 Japan

Tel: +81-18-886-5931 (Direct, open on weekdays between 9:00 a.m. and 5:00 p.m.)

Fax: +81-18-886-5910

E-mail: info@aiu.ac.jp

NOTE: Change of Admission Information from Academic Year 2026 Enrollment

The application requirements for language qualification in Japanese Language Teaching Practices will be changed as below.

New	Old
<p>■ Native speakers of Japanese TOEFL iBT®71, TOEFL®PBT 530, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 750, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>■ Non-native speakers of Japanese must meet both of the requirements below:</p> <p>1) Must have one of the following: TOEFL iBT®71, TOEFL®PBT 530, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 750, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>2) Must have JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N1 level.</p>	<p>■ Native speakers of Japanese must meet 1) or 2) of the requirements below:</p> <p>1) Must have one of the following: TOEFL iBT®71, TOEFL®PBT 530, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 750, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>2) Must have both of the following:</p> <p>a. TOEFL iBT®61, TOEFL®PBT 500, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 700, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>b. TOPIK (Test of Proficiency in Korea) 5th level, HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) 5th level, or CEFR (Common European Framework of Reference of Languages) C1 level.</p> <p>■ Non-native speakers of Japanese must meet both of the requirements below:</p> <p>1) Must have one of the following: TOEFL iBT®61, TOEFL®PBT 500, or an equivalent level of English demonstrated by another English test, such as TOEIC®L&R 700, IELTS™ 6.0, and STEP Eiken Pre-1st level.</p> <p>2) Must have JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N1 level.</p>